

令和4年度 第1回 朝日地域振興懇談会

次 第

日 時 令和4年9月30日（金）
午後1時30分開会
場 所 朝日庁舎4階 大会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報 告

(1) かたくり温泉ぼんぼについて 資料1

(2) 市営バス等の利用状況について 資料2

(3) 朝日庁舎再整備事業について 資料3

4. 協 議

(1) 朝日地域まちづくり未来事業について 資料4-1 資料4-2 資料4-3

(2) その他

5. そ の 他

6. 閉 会

かたくり温泉「ぼんぼ」の営業終了について

朝日庁舎市民福祉課

◆11月30日で営業終了

令和4年1月末、かたくり温泉ぼんぼ管理運営組合より、令和4年度で管理運営業務を終了する旨の届出が市へ提出されており、3月17日開催の地域振興懇談会において報告。

9月21日付けで、同組合より11月30日をもって営業終了する届出提出。

これを受け、翌22日に市HP等で営業終了について公表。

○終了理由：4月以降も長引くコロナ禍の影響による入館者の減少が続き、加えて燃料費、電気料の大幅な値上げ等、維持経費の増加により今後の経営継続は困難と判断。

◆営業終了後の対応について

○介護予防事業：現在、「いきいきぼんぼの会」主催により実施している通所サービスB、「百歳体操の会」主催事業についての12月以降の事業実施方法は現在検討中。

（会場、実施方法等）

○ぼんぼ施設：営業終了後の施設活用方法については、今年度当初から庁舎横断的な検討チームを立上げ検討。

今後、新たな団体から施設使用の申し出があった場合は適切に対応。

朝日地域市営バス等の利用状況について

(1) 朝日地域市営バス（平日）

大鳥線

1 便

行き：朝日保育園前 - 朝日庁舎前 - 上田沢 - 松ヶ崎公民館

帰り：松ヶ崎公民館 - 上田沢 - 倉沢上 - 朝日庁舎前 - かたくり荘前 - 朝日保育園前

2 便

行き：朝日保育園前 - かたくり荘前 - 朝日庁舎前 - 倉沢上 - 上田沢 - 松ヶ崎公民館

帰り：松ヶ崎公民館 - 上田沢 - 朝日庁舎前 - 朝日保育園前

田麦俣線

1 便

行き：朝日庁舎前 - 大網 - 旧田麦俣分校口

帰り：旧田麦俣分校口 - 大網 - 朝日庁舎前 - かたくり荘前 - 朝日庁舎前

2 便

行き：朝日庁舎前 - かたくり荘前 - 朝日庁舎前 - 大網 - 旧田麦俣分校口

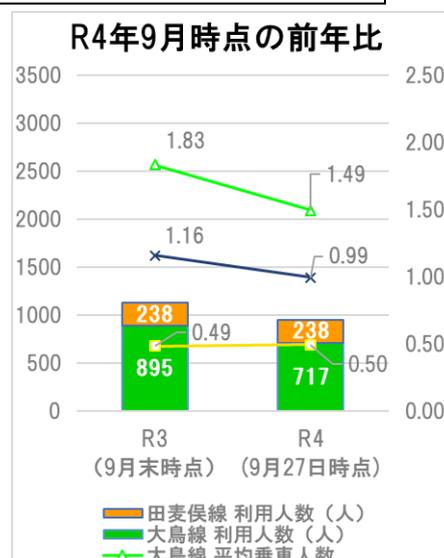
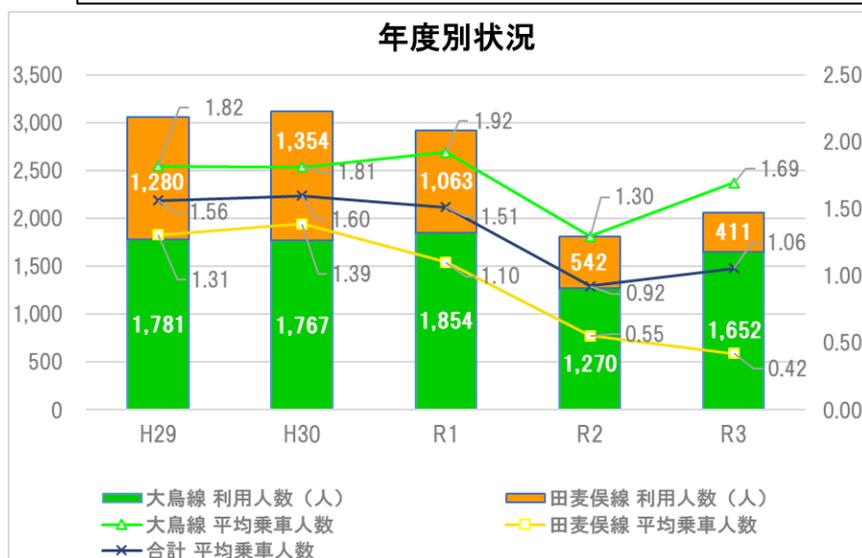
帰り：旧田麦俣分校口 - 大網 - 朝日庁舎前

●市営バス（平日） 年度別状況

路線名	項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4 (9月27日時点)
大鳥線	利用人数（人）	1,781	1,767	1,854	1,270	1,652	717
	台数	980	976	964	980	976	480
	平均乗車人数 （人）	1.82	1.81	1.92	1.30	1.69	1.49
田麦俣線	利用人数（人）	1,280	1,354	1,063	542	411	238
	台数	980	976	964	980	976	480
	平均乗車人数 （人）	1.31	1.39	1.10	0.55	0.42	0.50
合計	利用人数（人）	3,061	3,121	2,917	1,812	2,063	955
	台数	1960	1952	1928	1960	1952	960
	平均乗車人数 （人）	1.56	1.60	1.51	0.92	1.06	0.99

留意事項等

- ・運賃収入について、庄内交通の定期券（ゴールドパス等）保持者は運賃減免、無料となる。
令和4年度は、市営バス利用者の52.8%が減免により無料で利用している。



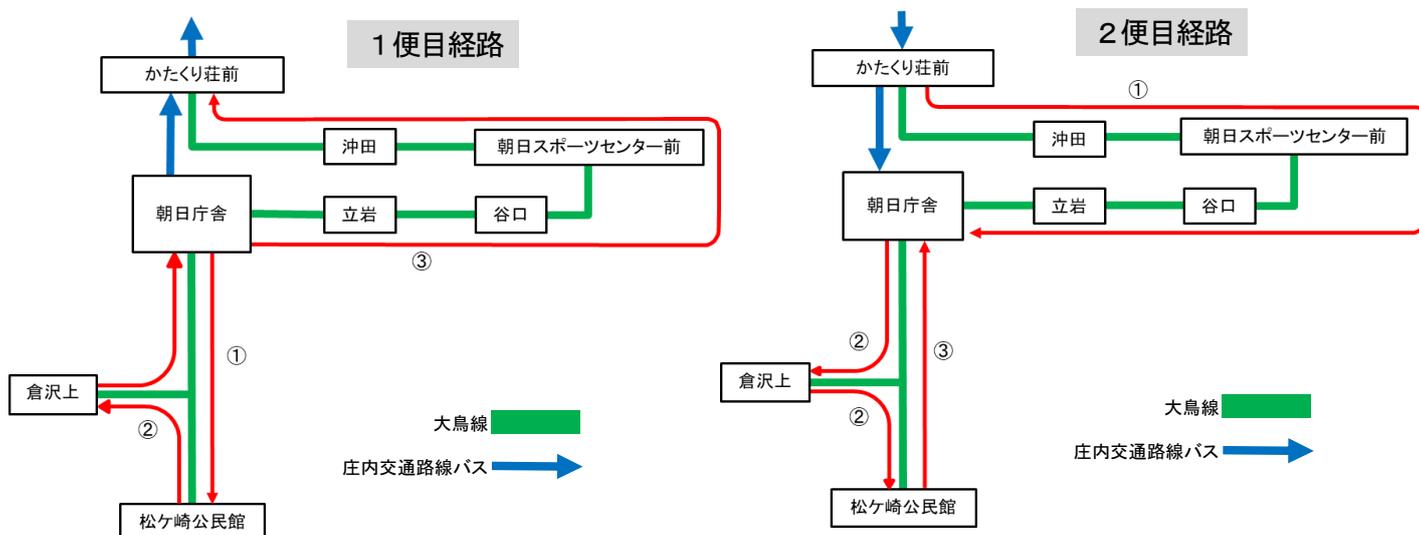
(2) 朝日地域市営バス土曜試験運行

目的:地域内の土曜日のバス需要を調査し、新規バス停の設置等について、より地域の需要や実情に合わせた市営バス運行を検討するため。

期間:令和4年5月21日(土)から 令和5年3月23日(土)まで

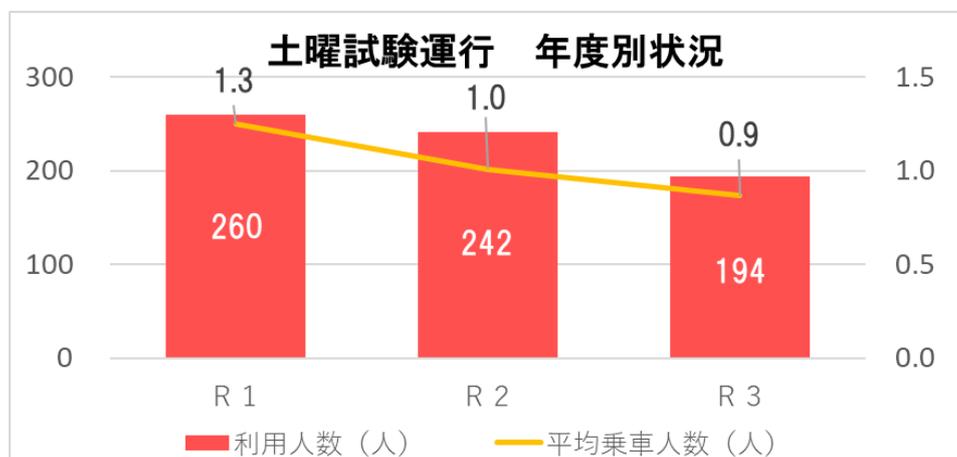
大鳥線 ※ R3 まで、大網線を運行

- 1便 行き:朝日庁舎前 - 上田沢 - 松ヶ崎公民館
 帰り:松ヶ崎公民館 - 上田沢 - 倉沢上 - 朝日庁舎前 - 谷口 - かたくり荘前
- 2便 行き:かたくり荘前 - 谷口 - 朝日庁舎前 - 倉沢上 - 上田沢 - 松ヶ崎公民館
 帰り:松ヶ崎公民館 - 上田沢 - 朝日庁舎前



●土曜試験運行 年度別状況

項目	R 1	R 2	R 3	R 4
利用人数 (人)	260	242	194	136
台数	208	240	224	76
平均乗車人数 (人)	1.3	1.0	0.9	1.8
1日あたりの利用人数 (人)	10.0	8.1	6.9	7.2
運行日数	26日間	30日間	28日間	19日間



鶴岡市朝日庁舎・消防署朝日分署改築工事 基本設計（概要版）

アックス・あべ・イシイ設計共同企業体

建築課・朝日庁舎総務企画課・消防本部総務課

鶴岡市朝日庁舎・消防署朝日分署改築工事の基本設計について

建築課
朝日庁舎総務企画課
消防本部総務課

工事基本計画書の基本理念・基本方針に基づいて、基本設計の設計方針を定め、施設設備の整備方針及び新庁舎が供用開始後に求められる活用方針をまとめましたので、次のとおり計画します。

工事基本計画書 基本理念	工事基本計画書 基本方針	設計方針	施設設備の整備方針
1 地震や風水害等の自然災害や火災時における地域防災の拠点	庁舎と朝日分署等、周辺施設の機能集約によりコスト縮減を図るとともに、耐震性を確保した地域防災の拠点を旨とする。 また、庁舎周辺一帯を「公共施設ゾーン」として捉え、それぞれの施設の位置付けを明確にする。市民が多く集まる会場（各種集会・避難所等）は朝日中央コミセン・あさひ小学校とし、新庁舎は司令塔としての機能を担う施設と位置付けて、効果的に整備する。	耐震性を確保した地域防災拠点として、庁舎と朝日分署を合築し、災害時の連携機能が向上する設計とする。 また、被災時でも必要なエネルギーを供給できる機能を確保し、司令塔として必要な行政機能を保持し、安心安全を支える場を目指す。	<ul style="list-style-type: none">・周辺機能の集約・・・庁舎と分署の合築に加え、関係団体を集約する・会議室兼災害対策本部室・・・可動式仕切りにより多用途の利用を目指すとともに、被災時には災害対策本部室として司令塔機能を確保する・太陽光発電（ソーラーパネル）・自家発電設備・蓄電池・・・再生可能エネルギーの活用を目的として、ソーラーパネルを庁舎南側の壁面に設置し、被災時の電源を確保し庁舎機能を維持する・マンホールトイレ・・・災害応急対策の一つとして、朝日分署の車庫に2基設置する
2 住民サービスや福祉の向上・地域の活性化、特に対話による連携・協働を推進する拠点	ワンストップサービスの拡充を図るとともに、デジタルで複数拠点を空間接続し、地域の接続拠点となり、住民サービスの拡充を図る。加えて、デジタルを活用した過疎対策モデル地区として情報通信技術を活用した新しいサービスへの取り組みを推進する。 また、対話による市民協働・交流拠点の整備を実現する。	ワンストップサービスを拡充させるため、窓口カウンターを集約し、利便性の向上を図る。合わせて、来庁者がわかりやすいレイアウトを実現し、立ち寄りやすい場所を目指す。 また、対話による連携・協働の拠点として、打合せ用の可動ブースや様々な活用を目的とした、多目的スペースを計画する。	<ul style="list-style-type: none">・ワンストップサービスカウンター・・・同種部門を一連のカウンターに集約し、来庁者が一箇所の窓口で複数の手続きが可能なワンストップサービスを提供する・多目的スペース・・・庁舎正面に、対話や協働の拠点として、打合せ用の可動ブースやバス待合スペース、コワーキングスペース等の活用を目的とした、執務時間外も使用可能な空間を整備する
3 中山間地域の暮らしを守り、支える取り組みを推進する拠点	森林資源などの地域資源を活用するとともに、木質バイオマス(チップボイラー)や太陽光発電等の再生可能資源を積極的に活用する。 また、デジタルを活用した過疎対策モデル地区として、市全体のデジタル推進・地域振興部門等の機能を併せ持つ施設を目指す。加えて、ペーパーレス化、フリーアドレス化に向けた施設環境を整備する。	地域の森林資源を活用し、庁舎棟を木造建築とするとともに、木質チップボイラー(チップボイラー)を導入し、床暖房等として活用する。来庁者が安全に立ち寄れるように雪対策に配慮した設計とする。 また、鶴岡市ゼロカーボンシティ宣言の推進のため、省エネに配慮した設計とする。	<ul style="list-style-type: none">・チップボイラー・・・木質バイオマス棟を整備して、チップボイラーによる温水循環により、床暖房等として活用する・雪対策・・・庁舎正面玄関は、積雪時も安全に来庁できるように、車いす駐車場・駐輪場を併設した、屋根付きのエントランスを整備する・ZEB Ready※・・・鶴岡市ゼロカーボンシティ宣言の推進のため、ZEB Ready仕様の省エネに対応した断熱材・サッシ・空調等を整備する ※基準一次エネルギー消費量（空調・換気・照明等のエネルギー消費）から50%以上の一次エネルギー消費量の削減を実現している建物・太陽光発電(ソーラーパネル)(再掲)

新庁舎が供用開始後に 求められる活用方針

- ・デジタルを活用した過疎対策・地域公共交通・中山間振興の司令塔として、新しいサービスモデル検証の実施
- ・デジタルで複数拠点を空間接続し、地域の接続拠点となり住民サービスの拡充
- ・市民・各団体・市との対話により、地域課題の解決を目指す機会の創出
- ・災害に強いクラウド化の実現及びペーパーレス化、フリーアドレス化についての検討

鶴岡市地域まちづくり未来事業計画

平成31年3月策定

令和4年3月変更



鶴岡市

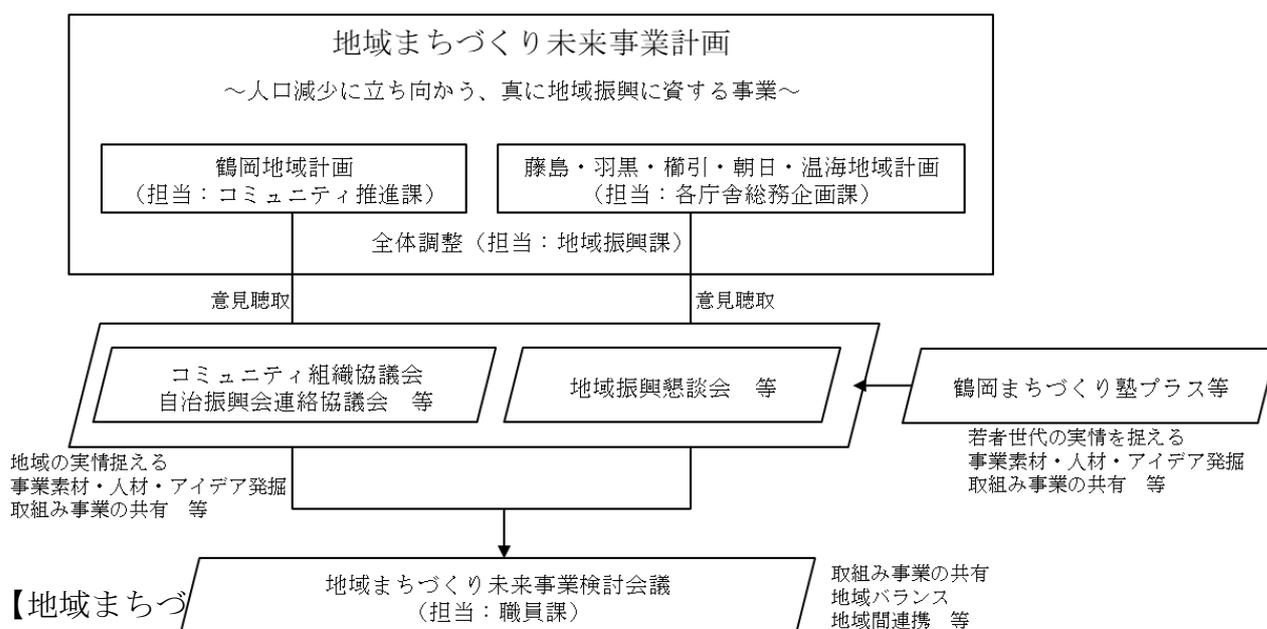
1 地域まちづくり未来事業計画について

(1) 策定の趣旨

「地域まちづくり未来基金」の設置目的である「地域社会・コミュニティの振興及び均衡ある発展」を図るため、「人口減少に立ち向かう、真に地域振興に資する」事業を地域まちづくり未来事業として実施することとし、これを地域まちづくり未来事業計画の中に位置づけ明らかにします。

地域まちづくり未来事業計画に基づいて地域ごとに事業を実施することにより、魅力あるまちづくりを推進するものです。

また、策定にあたっては、全ての地域が個性を発揮し、その魅力を高めるとともに、人材を育成していくまちづくり活動を活性化できるよう、各地域振興懇談会や鶴岡まちづくり塾、地域まちづくり未来事業検討会議など、様々な場面において地域の意見を伺い反映しています。

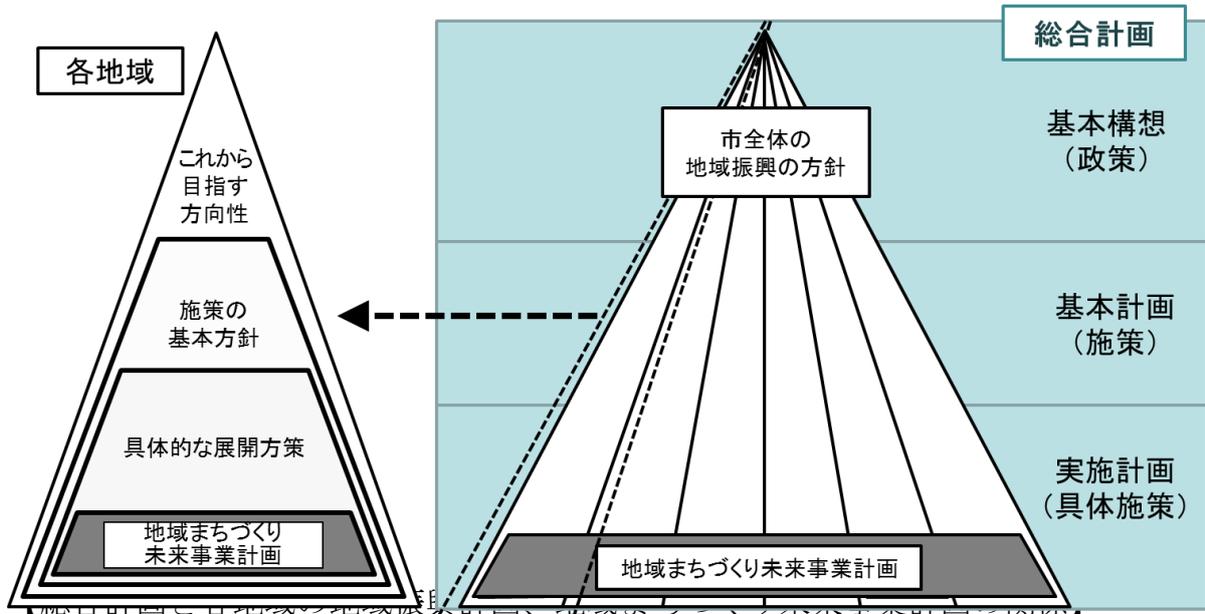


(2) 計画期間

2022（令和4年）年度から概ね3年程度とし、年度ごとに見直しを行います。

(3) 計画の位置付け

地域まちづくり未来事業は、第2次総合計画（計画期間：2019（平成31）年度から10年間）及び各地域の地域振興計画（計画期間：2019（平成31）年度から5年間）において、地域振興の方針を実現するためのより具体的な施策として位置づけられます。



(4) 財源について

地域まちづくり未来事業は、主な財源として「地域まちづくり未来基金」を充てるほか、起債や国・県等の交付金なども活用します。

2 地域振興の方針と施策の方向について

(5) 朝日地域

○地域の基本方針

朝日地域は豊かな森林資源に恵まれ、自然と調和した歴史と文化が育まれてきた地域です。

しかし、全国的にも有数の豪雪地帯であり、山間地という地理的条件上、平野部と比較すると厳しい住環境にあり、人口減少や少子高齢化の傾向が特に顕著となっています。

住民が住み慣れた地域で安全にいきいきと暮らしていけるよう、生活環境の整備や住民による生活基盤の維持、強化への支援など、地域の暮らしを守り支える取組を進めます。

また、これまでの農業基盤や生産技術に創意工夫を加えた農業施策や、森林資源を活用した振興方策により農地や山林の荒廃を食い止め、農林業の持続的な振興を図ります。

併せて、豊かな自然や山岳信仰など、多種多様な観光資源を組み合わせ、地域内の自然や伝統文化、食の魅力を存分に楽しめる環境を整備し、交流人口の拡大による観光振興を推進します。

○施策の方向

中山間地域の暮らしを守り、支える取組を進めます

ア 中山間地域における定住環境の支援

地域住民が、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、地域内生活交通の確保や高齢者の克雪対策支援など、生活環境の整備・支援を行います。

また、住民主体による地域の実情に応じた集落対策を推進し、共通の課題を抱える集落間をつなぐなど広域的な視点から集落間の連携による生活基盤の維持・強化を進めるとともに、持続可能な地域運営組織の育成と活動拠点の整備を進めるほか、地域課題解決に向けた住民自らの取組みを支援します。

併せて、豊かな森林資源と自然環境を活用した自然環境教育の実践や国際交流などにより、次世代を担う人材の育成を目指します。

- ①地域内生活交通の維持・確保を目指します
- ②快適で安心・安全な環境整備への支援を進めます
- ③地域を支える人材の育成を進めます

イ 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興

これまでの農業基盤や生産技術に創意・工夫を加えた農業施策を推進し、農産物の流通体系の整備、地域特産品（農産物）の生産支援、特産品の開発、

既存商品のブラッシュアップ、農地保全のための仕組みづくり等を通し、中山間地型複合経営を目指します。

また、広大な森林資源を活用するために菌茸類等の栽培技術の向上、新規生産者の育成に努め、特用林産物の販売数量の確保と資源循環を目指します。

- ①中山間地における持続的な農業体系の整備を進めます
- ②森林資源の保全と有効な活用を進めます

ウ 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興

通年型観光の拠点として湯殿山エリアを構成する多彩な観光資源を組み合わせ、誘客を図るとともに、地域にある自然や文化、食の魅力を存分に楽しめる環境づくりを通し、地域の活性化につながる観光振興を目指します。

- ①観光振興施設と観光者受入環境の整備を進めます
- ②地域の自然、文化、食の魅力の発信を進めます

3 実施事業について

(5) 朝日地域

地域振興の基本方針の位置付け	中山間地域における定住環境の支援					
プロジェクト名	地域内生活交通の維持・確保					
プロジェクトの目的	学校等の生活利便施設への交通を確保するため、地域の実情や需要に応じた、利用者の視点に立ったきめ細やかな地域内交通対策を推進する。					
プロジェクトの概要	(1) 高校通学時のバス定期購入費用に自己負担上限を設け、差額を市が補助することで、保護者の経済的負担を軽減する支援を行う。					
期待できる効果	(1) 通学時に公共交通機関の利用が促進され、高校生保護者世帯の経済的・送迎に伴う時間的な負担の軽減が期待できる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2022	2023	2024	2025以降
	(1)	朝日地域高等学校等生徒通学費支援事業	○	○	○	○
	2021(令和3)年度決算見込み額(千円)		1,200			
	2022(令和4)年度当初予算額(千円)		1,300			

地域振興の基本方針の位置付け	中山間地域における定住環境の支援							
プロジェクト名	快適で安心・安全な環境整備への支援							
プロジェクトの目的	<p>雪による経済的及び精神的負担を軽減するため、除雪支援や克雪対策の取組を進め、定住環境の整備を推進する。</p> <p>また、高齢者の自立促進と健康寿命の延伸のため、近隣住民の協力や支え合いの仕組みづくり、医療機関、関連福祉団体との連携や地域資源を活用した事業等を通して、高齢者支援体制の充実を図る。</p> <p>地域住民が主体となって地域課題解決のために試行的な取組を行うことにより、中山間地域における地域運営体制の確立を図る。</p>							
プロジェクトの概要	<p>(1) 要支援者宅の玄関前除雪作業に対する支援を行う。</p> <p>(2) 温泉入浴施設管理運営への支援を行う。</p> <p>(3) 持続可能な地域運営確立のための活動へ支援を行う。</p>							
期待できる効果	<p>(1) 除排雪の労力負担により転出を余儀なくされる要支援者世帯の負担を軽減し、定住化を促す効果が期待できる。</p> <p>(2) 温泉入浴施設の活用により、介護予防事業等への参加がなかった住民のきっかけづくりとなり、参加者の増加が期待できる。</p> <p>(3) 住民主体による活動により、生活・福祉等の環境整備が図られ、集落生活圏の持続可能な運営体制の確立が期待できる。</p>							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2022	2023	2024	2025以降
	(1)	朝日地域助け合い玄関前除雪支援事業	○	○	○	○		
	(2)	朝日地域健康増進施設支援事業	○					
	(3)	「交流の里おおあみ」づくり支援事業	○	○				
	2021(令和3)年度決算見込み額(千円)		8,010					
	2022(令和4)年度当初予算額(千円)		11,830					

地域振興の基本方針の位置付け	中山間地域における定住環境の支援							
プロジェクト名	地域を支える人材の育成							
プロジェクトの目的	豊かな森林資源と自然環境を活用し、次世代を担う子供達をはじめとした市民への自然環境教育の実践を進める。また、地域の若者による交流事業等を通じた関係人口の拡大と人材育成を推進する。併せて、地域情報の発信により、地域理解を深めてもらう取組を推進する。							
プロジェクトの概要	(1)タイ国「子どもの村学園」への中高生派遣事業を支援する。 (2)伝統行事、地域イベント等を紹介するカレンダーを制作する。 (3)大鳥自然の家の環境教育プログラムの開発を行う。 (4)地域の若者による地域内外との交流活動を支援する。							
期待できる効果	(1)これまで民間レベルでの交流を展開してきた活動に支援を行うことで、継続した派遣事業として国際交流の人的ネットワークを広げ、地域を支える人材育成の効果が期待できる。 (2)行政情報や地域行事、地域の多様な資源や魅力等を地域住民に周知することで、各種の行事や活動への理解を深め、コミュニティ活動のきっかけになることが期待できる。 (3)自然環境教育を通じた地域の自然や文化を再認識する機会とし、次世代を担う青少年の健全育成が期待できる。 (4)地域の若者が地域内外との交流事業、ワークショップを行うことにより、地域に愛着を持つ人材の育成が期待できる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2022	2023	2024	2025以降
	(1)	「子どもの村学園」国際交流派遣事業			○	○	○	○
	(2)	朝日地域情報広報事業			○	○	○	○
	(3)	大鳥自然の家環境整備事業			○	○	○	○
	(4)	朝日地域若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト事業			○	○	○	○
		本郷地区山村広場日よけ施設設置事業【完了】						
	2021(令和3)年度決算見込み額(千円)				4,584			
	2022(令和4)年度当初予算額(千円)				1,218			

地域振興の基本方針の位置付け	森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興					
プロジェクト名	中山間地における持続的な農業体系の整備					
プロジェクトの目的	地域農業の持続的な振興を図るため、醸造用ぶどう、山菜、そば等、地域内農産品の生産振興や新たな特産品開発への支援、販路拡大のための取組、将来に向けた農業者育成のための取組を推進する。また、鳥獣被害防止対策の取組を推進する。					
プロジェクトの概要	(1)地域の産直の今後のあり方について検討を行う。 (2)地域の若い農業者、農業に関心のある若者に交流、学習の場を提供す (3)地域の醸造用ぶどうの生産者の生産活動への支援を行う。 (4)朝日産そばの消費拡大による振興を行う。					
期待できる効果	(1)地域の産直の方向性を明確にすることで、生産者が安心して生産活動を行うことができ、所得向上、生きがいづくり、地域の活性化が期待できる。 (2)農業に関わる若者の語らう場、共同活動の場を提供することで、地域の農業を担う人材の仲間意識と地域への愛着の醸成が期待できる。 (3)醸造用ぶどう生産活動へ支援することで、栽培面積や生産量の維持を図り、月山ワインをはじめとする加工品の品質向上と持続的な生産が期待できる。 (4)そばの消費拡大により、生産者の所得向上が期待できる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2022	2023	2024	2025以降
	(1)	産直施設の在り方検討事業	○			
	(2)	朝日地域若者農業者支援事業	○	○	○	
	(3)	朝日地域山ぶどうワイン販わい支援事業	○			
	(4)	朝日産そば振興事業	○	○	○	○
		地域農業の調査研究事業【事業の見直しにより削除】				
		伝統料理の継承事業【完了】				
	2021(令和3)年度決算見込み額(千円)		410			
	2022(令和4)年度当初予算額(千円)		1,530			

地域振興の基本方針の位置付け	森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興							
プロジェクト名	森林資源の保全と有効な活用							
プロジェクトの目的	<p>用材林、薪炭等の活用を推進するとともに、菌茸等の特用林産物の栽培研究や技術研究等を進めることにより販売量の確保や生産者の育成を図り、山林の荒廃防止対策を推進する。</p> <p>また、生産・販売の維持・拡大や特産品の創出等の取組を支援・促進し、地域と資源の持続化を推進する。</p>							
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物の栽培技術研修、集荷、移動販売などへの支援を行う。 ・地域の資源を活かした特産品の創出などの取組への支援を行う。 							
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・生産技術向上、販売機会拡大により、生産者の所得の向上が期待できる。 ・特産品への取組により、地域ぐるみの活動の活発化、特産品の創出、生産の持続化、付加価値向上、更には地域の認知度の向上が期待できる。 							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2022	2023	2024	2025以降
	(1)	朝日地域山の恵み産地化事業			○	○	○	
		朝日地域森林荒廃防止支援事業【完了】						
	2021(令和3)年度決算見込み額(千円)				1,740			
	2022(令和4)年度当初予算額(千円)				2,000			

地域振興の基本方針の位置付け	自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興					
プロジェクト名	観光振興施設と観光者受入環境の整備					
プロジェクトの目的	湯殿山エリアへの通年型観光による誘客を図るため、インフォメーション機能の整備やガイド、インストラクター等の人材育成を支援する。					
プロジェクトの概要	(1)通年型観光の拠点施設として、湯殿山エリアを構成する多彩な観光資源を組み合わせ、インフォメーション機能の整備やガイド、インストラクター等の人材育成を通し誘客を図るとともに、施設の更新整備を進める。 (2)湯殿山スキー場やあさひ家族キャンプ村の今後の活用方針について検討するとともに、施設の更新整備を進める。					
期待できる効果	(1)道の駅としての公益性を維持しつつ、来訪客に魅力あるイベント等を企画することにより、交流人口の拡大が期待できる。 (2)スキー・スノーボード、オートキャンプの魅力を発信し来訪客の増加を図ることで、交流人口の拡大や雇用の場の確保が期待できる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2022	2023	2024	2025以降
	(1)	道の駅「月山」整備事業		○	○	○
	(2)	あさひ自然体験交流施設維持管理事業	○	○	○	○
	2021(令和3)年度決算見込み額(千円)		14,399			
	2022(令和4)年度当初予算額(千円)		273,300			

地域振興の基本方針の位置付け	自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興							
プロジェクト名	地域の自然、文化、食の魅力の発信							
プロジェクトの目的	日本遺産の構成文化財である六十里越街道や大鳥池、以東岳等の自然、また歴史が生み出した生活様式、食文化等の情報発信を図り観光資源として活用し、交流人口の拡大を図る。							
プロジェクトの概要	(1)大鳥池へのヒメマス放流に対する支援を行う。 (2)観光需要が集中する夏季に観光客の交通手段を確保するために夏季観光バスを運行する。 (3)六十里越街道の情報発信を強化し、誘客増加を図る。 (4)登山道の整備など登山者受け入れのための環境を整備し、登山者の増加を図る。							
期待できる効果	(1)資源を確保することで大鳥池の魅力を高め、朝日連峰への誘客効果が期待できる。 (2)観光客の二次交通を確保することにより交流人口の拡大が期待できる。 (3)観光資源についての情報発信の拡充及び新たなガイド育成の取組へ支援することにより、誘客増加が図られ地域への経済効果が期待できる。 (4)登山道の新設によって、イベントの実施や縦走登山者の宿泊等による地域での消費拡大が期待できる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2022	2023	2024	2025以降
	(1)	大鳥地域淡水魚活性化事業			○	○	○	○
	(2)	朝日地域夏季観光バス運行事業			○	○		
	(3)	六十里越街道魅力発信事業			○			
	(4)	桧原二ノ俣峠越山道復元事業			○	○	○	○
		朝日連峰コミュニティネット運用事業【完了】						
		食と六十里越街道トレッキング連携事業【完了】						
		朝日地域国有林活用事業【完了】						
		2021(令和3)年度決算見込み額(千円)			3,608			
		2022(令和4)年度当初予算額(千円)			4,028			

◆ 令和4年度 朝日地域まちづくり未来事業の概要 ◆

地域の特性や資源を生かした特色ある地域づくりを目指します



【現状分析】朝日地域は...

緑豊かな自然・歴史が織りなす文化
森林資源などの大いなる恵み

=

豪雪・自然災害等が発生
定住する上では厳しい自然環境

時代とともに変化しつつある要因

少子・高齢化や人口減少が顕著 = 集落機能の維持が困難
就業構造の変化 = 第1次産業従事者の減少・後継者不足



地域振興の方針：「中山間地域の暮らしを守り、支える取組み」

暮らしを守る取組

Ⅰ 中山間地域における定住環境の支援

1. 地域内生活交通の維持・確保を目指します

No. 1 朝日地域高等学校等生徒通学費支援事業（バス定期購入支援） 1,300千円

2. 快適で安心・安全な住環境整備への支援を進めます

No. 2 朝日地域助け合い玄関前除雪支援事業（玄関前共同除雪支援） 330千円

3. 高齢者がいきいきと生活できる環境整備を進めます

No. 3 朝日地域健康増進施設支援事業（温泉入浴施設運営支援等） 11,000千円

4. 地域を支える人材の育成を目指します

No. 4 「子どもの村学園」国際交流派遣事業（中高生交流事業への支援） 200千円
No. 5 朝日地域若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト事業（地域・人づくり支援） 478千円
No. 6 朝日地域地域情報広報事業（地域振興カレンダーの作成・配布） 160千円
No. 7 大鳥自然の家環境整備事業（環境教育プログラムの開発） 380千円

5. 中山間地域運営の持続可能な仕組みづくりを支援します

No. 8 「交流の里おおあみ」づくり支援事業（地域課題解決への支援） 500千円

暮らしを支える取組

Ⅱ 森林資源、自然環境等を活用し、中山間地に特化した農林業の振興

1. 中山間地域における持続的な農業体系の整備を進めます（食文化の発信）

No. 9 朝日地域若者農業者支援事業（農業・農村を支える人材育成） 370千円
No. 10 朝日地域山ぶどうワイン販わり支援事業（山ぶどう生産を支援） 1,000千円
No. 11 朝日産そば振興事業（生産団体と販売事業の連携を支援） 160千円

2. 森林資源の有効な保全と活用を目指します（山里の宝の掘り起し）

No. 12 朝日地域山の恵み産地化事業（特産品の集出荷、生産維持・拡大等に支援） 2,000千円

Ⅲ 自然、文化、風土等、地域資源を活用した観光の振興

1. 観光振興施設と観光者受入環境の整備を進めます

No. 13 あさひ自然体験交流施設維持管理事業（スキー場施設の改修等） 309,300千円
(R3繰越含む)

2. 地域の自然、文化、食の魅力の発信を進めます（交流人口の拡大）

No. 14 大鳥地域淡水魚活性化事業（ヒメマス放流への支援） 250千円
No. 15 朝日地域夏季観光バス運行事業（観光客二次交通の確保） 3,198千円
No. 16 六十里越街道魅力発信事業（インバウンド対応の情報発信支援等） 480千円
No. 17 桧原二ノ俣峠越山道復元事業（登山道としての整備保全への支援） 100千円

令和4年度 朝日地域まちづくり未来事業 取組状況（令和4年9月現在）

資料4-3

No	事業名	事業内容	予算額	取組状況
1 中山間地域における定住環境の支援				
1	朝日地域高等学校等生徒通学費支援事業	高校通学時にバス定期を購入する保護者への支援	1,300	○朝日中学校3年生及び保護者に対して制度案内チラシを配布予定。
2	朝日地域助け合い玄関前除雪支援事業	高齢者等自力除雪が困難な世帯の玄関前除雪作業に対する支援	330	○冬期に向け広域コミュニティ組織と事業実施等打合せ予定。
3	朝日地域健康増進施設支援事業	温泉入浴施設管理運営・介護予防事業への支援	11,000	○温泉入浴施設運営団体への光熱水費、燃料費を支援。 ○専門資格等を有する指導者による介護予防事業の実践指導を実施し、介護予防活動推進団体を育成。
4	「子どもの村学園」国際交流派遣事業	タイ国「子どもの村学園」との中高校生交流事業を支援	200	○コロナ禍で派遣事業ができないため、朝日中と「子どもの村学園」とのリモート交流事業を開催予定。 ○市内全中学校において、「子どもの村学園」との交流を紹介する資料の展示予定。
5	朝日地域若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト事業	若者が集い語らい、交流活動を通して行う地域・人づくりを支援	478	○昨年結成されたチームWaGeSho(ワゲショ)が行う定期的なチーム会議、メンバー同士の交流事業への取組を支援。 ○東北公益文科大学と民間IT企業との連携により「朝日共創プロジェクト」として、地域課題を人と人とのつながりで解決に導くための取組を開始。
6	朝日地域地域情報広報事業	伝統行事、地域イベント等を紹介する地域振興カレンダーの作成	160	○市広報にてカレンダーへの有料広告の募集を周知予定。 ○令和5年度実施予定の地域行事や学校行事、イベント情報を収集してカレンダーを作成し、地域住民や公共施設等へ配布予定。
7	大鳥自然の家環境整備事業	環境教育プログラムの開発	380	○大鳥地域の自然を活かした環境教育プログラムの開発を大鳥自然の家施設管理者へ委託。
8	「交流の里おおあみ」づくり支援事業	地域住民主体による持続可能な地域運営のための活動への支援	500	○大網地区地域交流センターを拠点に、朝日東部地区自治振興会が主体となり、地域課題を解決するための試行的な取組に支援。

No	事業名	事業内容	予算額	取組状況
2 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興				
9	朝日地域若者農業者支援事業	若者農業者の交流を支援し、農業・農村を支える人材を育成	370	○地域内へのチラシ配布、市ホームページ掲載によりメンバー募集を実施。（メンバーは随時募集） ○これまでグループワークを3回実施、今後も定期的な交流を行い、今後の活動内容を検討。
10	朝日地域山ぶどうワイン賑わい支援事業	醸造用ぶどうの生産支援として栽培設備購入費や園地整備費等へ助成	1,000	○JA庄内たがわ山ぶどう部会に事業内容を周知し、品質向上の取組と生産基盤の強化を支援。
11	朝日産そば振興事業	生産関係団体による朝日産そばの消費拡大に向けたイベント開催、ブランド化を目指したPR事業に支援	160	○鶴岡市朝日産そば消費拡大推進協議会による「新そばまつり」が10月開催予定。（開催日・会場：10/29 そば処大梵字、10/23・30 産直あさひ・グー）
12	朝日地域山の恵み産地化事業	団体が行う販売目的の特産品収穫出荷等への支援 特産品の創出、生産維持・拡大等の取組への支援	2,000	【山の恵み産地化事業】 ○産直あさひ・グーが行う農産物等の集荷・販売、市街地での移動販売（森の産直カー）や、山菜等栽培研修会開催などの取組へ支援。 【あさひの特産応援事業】 ○6月に申込団体を公募（チラシ全戸配布、市ホームページ掲載）した。9月に二次募集を開始し、年度内随時受付（月ごと審査）。
3 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興				
13	あさひ自然体験交流施設維持管理事業	湯殿山スキー場の維持管理や施設整備	309,300 (R3繰越含む)	○新第2ロマンスリフト建設工事を行い、令和4年シーズンにリニューアルオープン予定。第1ロマンスリフトは改修により安全性の向上と長寿命化を図る。
14	大鳥地域淡水魚活性化事業	大鳥池へのヒメマス放流に対する支援	250	○赤川漁協によるヒメマス稚魚等の放流事業を6月に実施。
15	朝日地域夏季観光バス運行事業	登山・観光シーズン中の観光客の交通手段確保への取組	3,198	○これまでの夏季観光バス運行事業を見直し、タクシーの相乗り制度を活用した観光客を対象とする新たな事業を予定していたが、豪雪被害による七ツ滝沢吊り橋の破損及び大雨被害による市道泡滝大鳥線の通行止めに伴い事業実施に至らなかった。
16	六十里越街道魅力発信事業	インバウンド向けホームページの拡充、ガイド用マニュアル等整備への支援	480	○地元団体及びDEGAMと連携し、あさひむら観光協会のホームページの拡充、街道ガイド（山船頭人）育成に向けたマニュアル整備への取組に支援。
17	桧原二ノ俣峠越山道復元事業	登山道利用を目指し、関係団体の刈払、看板設置等作業への支援	100	○桧原二ノ俣峠越山道復元協議会で草刈り作業を実施予定。